

試験区分	一般選抜	○
	現職教員選抜	○
	外国人留学生等選抜	○
	派遣教員選抜	✕
	特別選抜	✕

科目	選択問題：小学校社会科
対象	社会科教育サブプログラム

受験番号					

問 小学校社会科授業において期待される「主体的・対話的で深い学び」を実現するための学習指導の工夫と評価の改善について、最も重要だと考える事項をそれぞれ一つ挙げ、実際の授業に即して日本語で具体的に説明せよ。なお、解答欄が不足する場合は、裏面を使用してよい。

【解答欄】

解答のポイント

- 1. 広く授業改善で求められている「主体的・対話的で深い学び」の意味や趣旨が理解されていること。
- 2. 小学校社会科における「主体的・対話的で深い学び」を子どもの発達、授業の場面や過程に即して工夫や改善を想定していること。
- 3. 「主体的・対話的で深い学び」の実現と、記載された指導の工夫及び評価の改善に向けた取り組み方や手立てなどとの関係性が明示されていること。
- 4. 論述内容が、社会科を研究教科とする小学校教員が備えるべき見識として妥当なものであり、現在の学校教育において実施が可能であること。 上記に加え、論述全体に論理性や妥当性、具体性があること。

試験区分	一般選抜	○	科目	選択問題：中学校社会科	<table><tr><th colspan="6">受験番号</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	受験番号											
	受験番号																
	現職教員選抜	○	対象	社会科教育サブプログラム													
	外国人留学生等選抜	○															
派遣教員選抜	✕																
特別選抜	✕																

問 新学習指導要領において、中学校社会では、「主権者として、持続可能な社会づくりに向かう社会参画意識の涵養やよりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする」能力や態度の育成が目指されている。このことを踏まえて、都市環境整備の問題を取り上げて授業を作成するとしたら、あなたならどのような授業を構想するか。目標を明確に定め、また小学校との違いを意識した上で、単元計画をできるだけ具体的な形で示せ。また、こうした授業構想を実施する理由について、子どもたちの現状などを踏まえて日本語で説明せよ。なお解答欄が不足する場合は、裏面を使用してよい。

【解答欄】

＜解答のポイント＞

1. 子どもの実態把握
- 都市に住む子どもを相手に授業をするのか、それとも農村部の子どもを相手に授業をするのか、想定する子どもによって授業の方向性は変化することになる。まず、この大前提について踏まえていること。また都市に住む子どもたちだからといっても、彼らは必ずしも都市環境整備の問題について把握しているわけではない。そうした点に配慮ができていないこと。
2. 都市環境整備問題の認識
- 都市環境整備上の問題については、具体的には、託児所や保育園や公園の用地確保や騒音の問題、ゲリラ豪雨の増加に対する防災インフラの整備の問題、住民の高齢化と公共交通機関の脆弱化の問題など様々あるが、こうした問題について一定の理解があること。これらの問題に対してはどのような対策が実際になされてきたのか、またどのような対策が今後必要になるのかについて、一定の理解があること。
3. 指導計画の作成力
- 授業の目標を具体的に設定できていること。問いを効果的に活用して有効な探究型の授業が設定できていること。議論においては論点のある程度具体的に定めて授業設計ができていないこと。授業計画は目標に合致したものになっていること。
4. 社会参画意識の涵養への手立ての具体化
- 問題解決に向けた行政や NPO との有意義な接触の場の確保など、「社会参画意識」について指導計画上で意識されていること。
5. 先行研究の把握
- 都市環境整備の問題について、社会科教育学分野などでこれまで議論されてきたことや開発されてきた授業構想などについて踏まえることができていないこと。

試験区分	一般選抜	○	科目	選択問題：高等学校地理総合	<table><tr><th colspan="6">受験番号</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	受験番号											
	受験番号																
	現職教員選抜	○	対象	社会科教育サブプログラム													
	外国人留学生等選抜	○															
派遣教員選抜	✕																
特別選抜	✕																

問 1 次の①～④の地理的な用語のうち、1 つを選び、解答欄に選択番号（番号）を記載し、解答欄の範囲に日本語で説明せよ。

- ① ツンドラ ②アグリビジネス ③輸出加工区 ④自然堤防

【解答欄】

〈解答例〉

- 選択① 凍土地帯・凍原で、低温のため高木を欠き、短い夏の間に氷雪がとけて湿地となり、地衣類・コケ類などが生育する土地のこと。北極圏周辺などにみられる。強酸性の土壌・泥炭地に特徴づけられ、農業はできないが、伝統的にトナカイの飼育がなされている。
- 選択② 農産物の生産を取り巻く、種子開発や肥料や農薬，農業機械の生産、加工・貯蔵・運搬・販売などの農業関連産業を総称したものである。農産物の生産から加工・流通・消費に至るまで、食料供給体系全体を統轄し、農業者にも多大な影響力を持つ。
- 選択③ 輸出することを条件に企業を誘致する工業団地のことである。原料や部品の輸入関税の免税などの税金面での優遇措置が取られる。安価な労働力を利用されることが多く、中国や東南アジアなどの工業団地に多く設置されている。
- 選択④ 河川の流路に沿って形成される比高は数十 cm～数 m ほどの微高地。洪水流が氾濫原にあふれる際に流速を減じて流路の両側に河川が運搬してきた土砂を堆積させることで形成される。周囲よりも乾燥しており、集落や畑に利用される。

問 2 『高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）解説』では、地理領域科目の学習における社会的事象の見方・考え方を働かせる問いにつながる視点が 5 点にまとめられており、そのうちの 1 つが「人間と自然環境の相互依存関係」である。地理総合の内容として、この点に着目するの にふさわしい事象・事例を取り上げ、日本語 6 行で地理的かつ具体的に説明せよ。その際、配慮が必要な事項がある場合には言及すること。

【解答欄】

〈解答のポイント〉

1. 中学校地理的分野や地理領域科目に固有の「見方・考え方」が整理され、「思考力，判断力，表現力等」に関わるねらいが、視点や問いとして 5 つにまとめられている。そのうち 1 つについて、地理総合で取り上げるのにふさわしい事象・事例を具体的に思いつくことができ、適切な事象・事例を説明できること。
2. 生活文化や自然災害など、具体的な事象または事例が適切に取り上げられていること。
3. 人間と自然環境との“相互依存関係”に言及できていること。生活文化については社会環境との関係への配慮が、自然災害であれば危険性ばかりでなく、有益な面にも触れるなどの配慮がなされていること。
4. 地理的見方・考え方を働かせることができる事例として、意識的に・論理的に述べられていること。

試験区分	一般選抜	○
	現職教員選抜	○
	外国人留学生等選抜	○
	派遣教員選抜	✕
	特別選抜	✕

科目	選択問題：高等学校地理総合
対象	社会科教育サブプログラム

受験番号					

問 3 高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）の大項目 A「地図や地理情報システムでとらえる現代世界」、中項目（1）「地図や地理情報をシステムと現代世界」で、理解することの 1 つが「国内や国家間の結びつき」である。本事項に関して、4 時間程度の副次的な単元構成を考え（単元名、項目を列挙する程度でも差し支えない）、その「ねらい」を簡潔に説明せよ。また、そのうちの 1 時間の内容について「主題」を設定し、内容の扱いにも配慮して授業の指導計画を構想し、日本語で具体的に説明せよ。解答にあたり、解答用紙の裏面も使用してよい。

【解答欄】

〈解答のポイント〉

- 1 実際の授業場面を想定して、内容の扱いに留意した指導計画を示しているか。
- 2 「国内や国家の結びつき」を表す項目がここでのねらいを意識して 4 つ程度、示しているか。
- 3 地理総合の最初の単元であることや大単元・中単元名が示すように「地図や地理情報システム」という技能への言及がある点をふまえ、平易で適切な指導計画になっているか。
- 4 生徒が地理的見方・考え方を働かせられることを意識的し、論理的に述べているか。

試験区分	一般選抜	○	科目	選択問題：高等学校歴史総合	<table><tr><th colspan="6">受験番号</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	受験番号											
	受験番号																
	現職教員選抜	○															
	外国人留学生等選抜	○															
派遣教員選抜	✕																
特別選抜	✕	対象	社会科教育サブプログラム														

問 次の①②の問いに、それぞれ日本語で解答せよ。解答にあたっては、必ず①②の番号を付すこと。 なお、解答欄が不足する場合は、裏面を使用してよい。

- ① 現行の高等学校学習指導要領地理歴史科で定められている地理歴史科の教育課程の全体における、「歴史総合」の位置づけについて、説明せよ。
- ② 学習指導要領に定められる「歴史総合」の内容D「グローバル化と私たち」の(4)「現代的な諸課題の形成と展望」においては、「持続可能な社会の実現を視野に入れ、主題を設定し、諸資料を活用し探究する活動を通して」、「事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、日本とその他の国や地域の動向を比較し相互に関連付けたり、現代的な諸課題を展望したりするなどして、主題について多面的・多角的に考察、構想し、表現すること」が求められている。ここで求められている教育活動を具体化するためにはどのような主題の設定が適切であると考えるか。学習指導におけるあなたの考えを述べよ。

【解答欄】

〈解答のポイント〉

- ①
 - 歴史総合が、地理歴史科の必修科目であり、標準単位数は2単位であること、及び、歴史総合を履修した後の選択科目として日本史探究・世界史探究が設けられていることが説明できていること。
 - 上記に加え、論述全体に論理性・具体性があるかをみる。
- ②
 - 内容Dの(4)が、歴史総合のまとめの位置にあることに配慮し、主題の設定にあたって生徒の問題意識を基にしつつ、生徒が自主的な探究活動を行えるようなものにすることを意識していることに触れていること。
 - 主題の設定に当たって、大項目B、C及びDの(1)で生徒が表現した問いや、大項目B、C及びDの(2)及び(3)の学習が進む中で見直した問いや新たに生まれてきた問いを振り返らせることを意識することに触れていること。また、大項目B及びCの(4)で取り上げている五つの観点（自由・制限、平等・格差、開発・保全、統合・分化、対立・協調）から設定された主題についての学習の成果を生かすことなどにも触れていること。
 - 上記に加え、論述全体に論理性・具体性があるかをみる。

試験区分	一般選抜	○
	現職教員選抜	○
	外国人留学生等選抜	○
	派遣教員選抜	✕
	特別選抜	✕

科目	選択問題：高等学校公共
対象	社会科教育サブプログラム

受験番号					

問 防災教育についてどのような実践があり得るか、例を挙げつつ具体的に述べた上で、それらの諸実践の長所・短所について考察せよ。これらの考察を踏まえた上で、あなたが公共の分野で実践したいと考える防災教育の授業展開の工夫（使用する教材等も含めて）、学習指導や評価のポイントなどについて、学年・単元名・時間数を明記しつつ日本語で具体的に説明せよ。なお、解答欄が不足する場合は、裏面を利用してよい。

【解答欄】

<解答のポイント>

- 1. 公共の目標や教育内容を踏まえていること。
 - 2. 防災教育の様々な実践を踏まえているだけでなく、その実践が行える前提や効果等について深く考察していること。
 - 3. 対象とする学習者の性質を踏まえつつ、どのような教材・教授方法を用いてどのように授業を展開するか、具体的かつ説得的に論じていること。
 - 4. 先行研究（理論研究、授業実践研究）を踏まえていることが望ましい。
- 上記に加え、論述全体に論理性・具体性があるかをみる。